

## 【宮津地区将来構想】庁内作業部会における検討結果について

## 1 動線の整備

## (1) 主な検討項目

- ① 北消防署から国道 266 号へのスムーズな出動を可能とする緊急車両動線の確保
- ② (仮称) 新大矢野図書館・天草四郎ミュージアムと上天草物産館さんぱーるを繋ぐ歩道橋等の整備

## (2) 検討結果

## 【緊急動線について】

- ・ 緊急車両動線については、当面の間、宮津 1 号線を活用し登立方面への緊急出動時のアクセスを強化することとして、緊急車両動線、生活動線、観光動線の重複については、施設整備の計画時に改めて検討することとする。



## 【回遊動線について】

- ・ (仮称) 新大矢野図書館・天草四郎ミュージアムと上天草物産館さんぱーるが国道 266 号で分断されていることから回遊動線を確保し、宮津地区全体の有効活用を図るため、歩道橋等の設置が必要。
- ① 歩道橋の設置については、交通量等の基準を満たさず道路管理者として県が設置できないため、市が連絡橋として設置。
  - ② 連絡橋の設置については、施設等と一体的に整備。
  - ③ 具体的な設置位置については、施設の整備と密接に関係するため、施設整備の計画が整ったときに検討するが、宮津の交差点から(仮称)新

大矢野図書館の入口までの範囲が適当。

- ④ デザインについては地区のゲートとなるようなものに加えて、だれもが使いやすいバリアフリー化（EV、スロープ等）にも配慮。
- ⑤ 連絡橋の設置に当たり県警本部（信号機、横断歩道等）との協議及び天草広域本部（占有許可）への申請が必要。

## 2 公園・広場を中心とした施設の再編及び施設機能の強化・充実

### （1）主な検討項目

- ① 宮津地区に必要な施設の機能の検討
- ② 必要な機能を踏まえた施設整備の方向性の整理

### （2）検討結果

今後の方向性（イメージ）

#### 【整備方針】

道の駅上天草さんぱーるを核とした宮津地区のまちづくり

※ 老人福祉センター、物産館等の在り方を検討し、次の（2）導入機能を踏まえ、新たな道の駅として整備するとともに、その他の公共施設（スパ・タラソ、図書館等）との連携を図りながら、「日常づかいの観光」を展開していく。

#### 【導入機能】

区分	既存	追加
観光 交流機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直売所（鮮魚、花卉販売所等含む）</li> <li>・レストラン</li> <li>・加工研修施設</li> <li>・観光案内所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出店（テナント）スペース</li> <li>・カフェ</li> <li>・体験施設</li> </ul>
多世代 交流機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ホール（会議室等含む）</li> <li>・福祉センター（地域福祉活動等（高齢者支援含む）拠点、事務所、相談、レクリエーションの提供等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター（屋内遊び場、親子交流の場、子育て相談等）</li> </ul>
その他 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ</li> <li>・駐車場（駐輪場）</li> <li>・バス停</li> <li>・EV充電施設</li> <li>・イベント広場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点（非常用電源、備蓄倉庫、貯水槽、ヘリポート）</li> <li>・企業支援・総合交流施設（サテライトオフィス）</li> <li>・ボードパーク（要検討）</li> </ul>

※ 基本的に既存の施設機能を集約（精査）し、上天草市内の公共施設の状況等を踏まえた上で、新たに必要となる機能を追加

**【施設整備の方法等】**

- ① 整備及び管理運営の方法（公民連携活用の検討）
  - ・ 基本計画の策定に併せて PFI 等導入可能性調査を一括実施し、その調査結果を踏まえ、施設の整備及び管理運営の方法について決定
- ② 道の駅の取扱い
  - ・ 重点「道の駅」、防災「道の駅」の選定に向けた準備及び企画提案

**3 デザインガイドラインの策定**

(1) 主な検討項目

- 統一した景観づくり（サイン）の指針となるデザインガイドラインの策定

(2) 会議内容

- ・ 公共サインガイドラインの策定